

参加費無料  
登録不要

日本学術会議食料科学委員会畜産分科会  
日本草地学会  
公開シンポジウム

# 放牧・酪農による中山間地活性化の可能性を探る

日時：二〇一九年三月二十五日(月) 午後三時～午後六時

場所：広島大学・生物生産学部C二〇六教室(東広島市鏡山一丁目四番四号)

## プログラム

司会：遠野 雅徳(農研機構中央農業研究センター主任研究員)

放牧・乳文化から日本中山間地の活性化を考える  
平田 昌弘(帯広畜産大学教授)

放牧酪農の可能性—その魅力と罫—  
梶村 恭子(農研機構畜産研究部門ユニット長)

放牧畜産の可能性—島根県邑南町の事例から  
渡辺 也恭(農研機構西日本農業研究センターグループ長)

放牧草地確保のための草地・林地輪換システム  
大久保 忠旦(宇都宮共和国大学名誉教授)

酪農のSDGsへの貢献  
木村 純子(法政大学教授)

一次産業を念頭に置いた地域活性化の考え方  
上田 隆穂(学習院大学教授)

パネルディスカッション

主催：日本学術会議食料科学委員会畜産分科会・日本草地学会

共催：日本畜産学アカデミー

基盤研究 (A)「乳文化の視座からの牧畜論考—全地球的地域間比較による新しい牧畜論の創生」(代表・平田昌弘)

基盤研究 (B)「21世紀型農業経営のモデル創出に関する研究—乳文化産業の日欧比較—」(代表・木村純子)

お問い合わせ／シンポジウム事務局 平田昌弘 E-mail:masa@obihiro.ac.jp